

心膜癒着療法の説明及び同意書

患者氏名：@PATIENTNAME

説明日：@SYSDATE

説明を受けた方（本人、配偶者、父、母、兄弟（ ）、子（ ）、その他（ ））

診断名：_____

【病気の説明】心嚢液の排出を目的に、心嚢ドレナージを行いました。しかし、そのまま管（ドレーン）を除去すると、心嚢液の再貯留する可能性が高いと考えられます。今回、管（ドレーン）を通じて心膜腔に薬剤を注入することで、人工的に炎症を惹起させて心膜腔の癒着を促します。これにより、心嚢液の再貯留の可能性を下げる事が出来ます。

【方法】管（ドレーン）を通じて心膜腔に薬剤（抗がん剤の一つであるカルボプラチン）を注入します。その後、10分から15分毎に体位変換をしていただく必要があります。

【処置後】管に吸引する器械を接続して、心嚢液の排出の具合を観察します。

【起こりうる合併症】

- 発熱：38℃以上の熱が出ることがあります。
- 胸痛：炎症によって、胸が痛くなることがあります。
- 感染：管の挿入部および心嚢腔が感染することがあります。
- 不整脈・心電図異常・収縮性心膜炎

なお、この処置を行っても、心嚢液の量が減少しない場合もあります（改善率は80%程度です）。その場合には、処置を数回繰り返すこともあります。

以上、処置に関する説明を行いました。

神奈川県立循環器呼吸器病センター @USERSECTION

説明医師 @USERNAME

同席看護師名

同 意 書

西暦 年 月 日

神奈川県立循環器呼吸器病センター所長殿

患者氏名 _____

親族又は代理人(配偶者・父母・兄弟姉妹・親権者・保護義務者・法廷代理人・その他)

氏 名 _____

続柄 _____